

関西電力株式会社、インドネシア共和国／冷凍倉庫のエネルギーコスト削減を実現するヒートポンプ式除湿機及び冷却装置のDR技術を含む一体的自動制御実証事業が、経済産業省の令和7年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・F S事業）に採択

2026年7月29日

関西電力株式会社

関西電力株式会社（本店：大阪府大阪市、代表執行役社長：森 望）は、2026年6月30日、インドネシア共和国／冷凍倉庫のエネルギーコスト削減を実現するヒートポンプ式除湿機及び冷却装置のDR技術を含む一体的自動制御実証事業が、経済産業省の令和7年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・F S事業）に採択されたことをお知らせします。

この度、採択された事業は、インドネシア共和国において、冷凍倉庫にヒートポンプ式除湿機および高効率冷却装置を導入し、その運用や効果を検証することを目的としています。

＊令和7年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金
（小規模実証・F S事業）特設ホームページ

<https://r7h-gs-hojo-web-fspoc.jp/>

インドネシア共和国では、コールドチェーン市場の拡大に伴い、冷凍倉庫の需要増加が見込まれています。一方、高温多湿な気候条件のもとでは、冷凍倉庫内の温度・湿度を適切に管理するために、多くのエネルギーを必要とすることが課題となっています。

本実証では、当社および当社100%子会社である関西エナジーソリューションズ・インドネシア社が、高温多湿な環境下における温度・湿度管理の効率化に向けて、ヒートポンプ式除湿機を活用した空調・除湿システムを導入します。冷凍倉庫内の保管貨物が有する蓄冷効果や時間別電力料金を活用し、ヒートポンプ式除湿機と冷却装置を一体的に制御することで、食材や医薬品などの保管貨物の品質維持・向上を図るとともに、省エネルギー化および電力コストの削減を目指します。

また、電力需給に応じて設備を柔軟に制御し、デマンドレスポンス（DR）※による需給調整力の創出可能性についても検証します。

当社グループは、本実証を通じてインドネシア共和国における省エネルギー化および脱炭素化に貢献するとともに、本実証で得られた知見を活用し、海外のお客さまへの脱炭素ソリューションの提供拡大に取り組んでまいります。

※：需要側において、電力需給に応じて電気の使用を抑制またはシフトする仕組み。

以 上